

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 追想 バレレンの世紀 — 渡辺京二
- 51 西風
- 59 交差点 — 読者の声・編集者の声

- 88 皇室の風 — 岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話 — 齊藤貴子
- 94 本に遇う — 河谷史夫
- 96 誤審のスポーツ史 — 中村計
- 114 マスコミ業界ばなし

● 写真提供 / 時事通信フォト 共同通信イメージズ 朝日新聞社 産経新聞社 など

社会・文化



英霊祀る九段の杜に2つの騒動が勃発。いずれも徳川家の末裔である宮司が主役で、神社内の混乱を招いている。A級戦犯を巡る外部の風当たりが強まる中、一枚岩のはずの神職たちが法廷の場で争う事態となった。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 役人天国 東京都庁という伏魔殿
- 102 未熟児が産まれ過ぎる日本
- 106 大乱戦のNHK「ポスト榊井」争い — 官邸と自民党を巻き込む「泥仕合」
- 108 淑女たちが君臨する英国 — 「紳士の国」で何が起きているのか
- 110 靖国神社の内紛 — 「歴史修正」と訴訟沙汰で大揺れ

経済

- 60 株式市場「急変調」の予兆 — ヘッジファンドはすでに「逃げ腰」
- 62 米GM「女性会長」の辣腕 — 脱「台数至上主義」でトヨタに逆襲
- 64 野村不動産「最高級物件」に欠陥疑惑
- 67 連載「クローズアップ」
- 68 連載「企業研究」 JTB — 個人情報「ダダ漏れ」危険すぎる非公開企業
- 72 首都圏「電気料金請求」が大混乱 — 東京電力が抱えた新たな難題
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「経営者東京裁判」
- 80 好調・日本電産に「二つの試練」
- 84 出光創業家「大奥」の乱心

700万人分もの情報流出事件なのに、メディアはほぼ静観。広告主タプーに守られた業界の「巨象」に反省はない。杜撰な安全管理がまかり通る旅行会社の実情を知れば、ツアーで命を預けるのがさっと怖くなる。(68頁)



政治



憲法改正に向かう安倍の前に、「天皇陛下のご意向」が割って入った格好。生前退位の議論が長引けば、宿願を成就させる時間はなくなる。年内の総選挙が消え、解散が遠のくほど総裁任期延長も困難な情勢に。(48頁)

- 42 連載「土着権力の研究」長野県 信濃毎日新聞 — 世論を翻弄する「小坂家の王国」
- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 自民党「憲法改正草案」のでたらめ
- 48 安倍が難渋する「生前退位」問題
- 52 連載「政界スキヤン」「天皇軽視」安倍は本当に保守なのか？
- 54 「フーチン傾倒」安倍外交の陥穽 — 領土問題前進への「甘美な幻想」
- 56 安倍と「電通」の濃密なる癒着
- 58 連載「罪深きはこの官僚」遠藤俊英（金融庁監督局長） — 「三菱UFJ」不正融資をお目こぼし

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」ロボット・ハードマン — 「生前退位」英女王はまだまだ
- 6 孤独の大国「身悶える中国」
- 12 トランプに「大逆転」はあるか
- 14 英国はEU離脱を「反故」にする
- 16 イタリアは「ユーロ離脱」の瀬戸際 — 銀行危機と十月「国民投票」の重苦
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 イラン「核開発継続」の証拠続出 — オバマ外交遺産「は早や」破算
- 24 メキシコ「麻薬戦争」は永遠に続く — 「巨大消費地」米国がある限り
- 28 トルコ「軍反乱劇」の地政学的深傷 — 最大の「敗者」は米国
- 30 ロシアが主要な「テロ戦士輸出国」に — 「IS人材源」北カフカスという魔窟
- 32 増加必至の南アジア「イスラムテロ」 — 二億人を洗脳する「インド人説教師」
- 34 予想以上の北朝鮮「核技術」
- 36 中国メガバンクを襲う「多重危機」

無法国家ぶりが天下に晒された今、肩を持つのはカンボジアくらい。係争国への挑発行為を繰り返すほど、孤立は深まる。米国との軍拡競争が続けば、早晚財政が悲鳴を上げよう。南シナ海への固執が国を過つ。(6頁)

